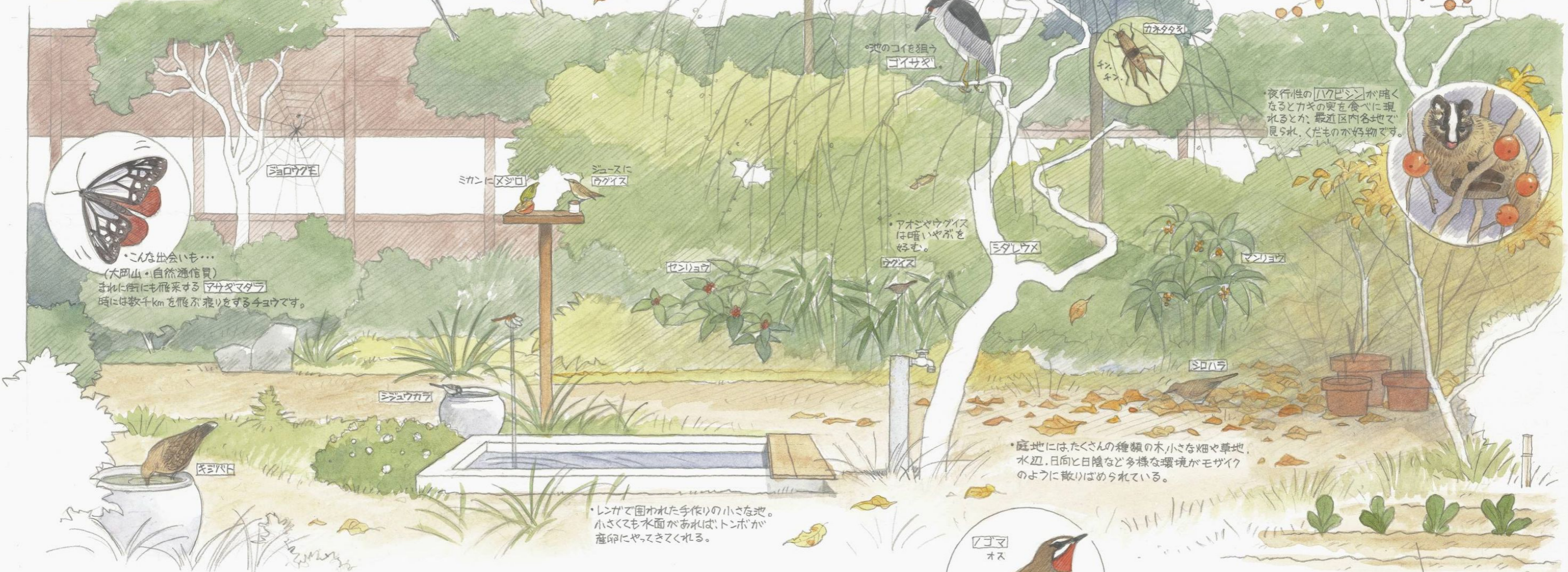
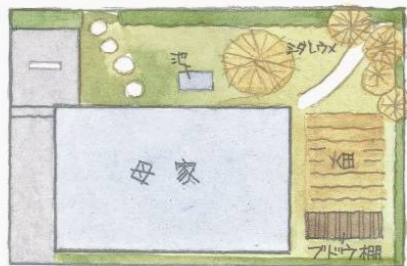


晩秋
10.11月

・木々が爽り色づくころ——柿の木坂・緑道近くの「庭地」。樹と落ち葉といさものたち。
落ち葉が分解して土に戻る自然の地面。そのような地面が「庭地」として住宅地の中に残されています。庭地は、身近なみどりや自然のサンクチュアリ。いろいろないさものととの出会いがあります。



・こんな出会いも…
(大岡山・自然通信員)
まれに街にも飛来する アサギマダラ
時には数千kmを飛ぶ旅をするチョウです。

・暖かい地方に移動途中のツグミ。

・アサギマダラをおそう小さなツグミ。

・池のこいを狙うゴイサギ。

・夜行性の「ハクビシ」が暗くなるとカキの実を食べに現れるとか、最近区内各地で見られ、くだものが好物です。

・庭地には、たくさんの種類の木、小さな畑や草地、水辺、日向と日陰など多様な環境がモザイクのように散りばめられている。

・レンガで囲われた手作りの小さな池。小さくても水面があれば、トンボが産卵にやってきました。

・鳥が集まる花木 (実の付く花木)



・こんな出会いも…

ある年の10月10日、小さな畑の手入れをしていると、1匹の赤い鳥が現れました。私たちが掘り返した土の中の虫を見つけたのでしょうか。(柿の木坂・自然通信員)

▽ゴマ スズメ目 ツグミ科
夏、北海道以北で巣を作り、冬は南国に渡る。主に秋に都内でも見られることもあります。

▽ゴマ オス



・「小さな畑」(家庭菜園) 落ち葉を腐葉土に活用するなど、エコ園芸をご夫婦で実践。落ち葉を活用する活動を区では「落ち葉ンク」と呼ぶ。



・この庭の一番のご馳走はアトドク(鳥たちにとって!)
・真っ先になくなるそうです。